

令和 5 年 6 月 29 日現在

機関番号：12602
研究種目：基盤研究(C) (一般)
研究期間：2018～2022
課題番号：18K08911
研究課題名(和文) ICUにおける多職種回診を基盤とした米国式治療バンドル導入の効果に関する検討

研究課題名(英文) The Effect of US Styled Treatment Bundles in the ICU Implemented through Multidisciplinary Rounds

研究代表者
重光 秀信 (Shigemitsu, Hidenobu)
東京医科歯科大学・統合国際機構・教授

研究者番号：50265782
交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：日本集中治療学会のデータベースデータベースから得られる内容を基に数多くの発表を国内外で行った。チェックリストと各種プロトコルは逐次的にICU内に導入した。特にせん妄防止の取組に関しては選択された患者群におけるせん妄発生率を大きく低下させることに成功した。新型コロナウイルス感染症中でも、多職種回診の更なる充実化およびコロナ重症症例に対する診療のシステム化及び運用の取り決めを行い、多職種連携によるチーム医療を実施した。ゾーニングはコロナ対策室の事務員も多職種の一員として参画するシステムを構築した。多職種回診をリモート実施し本来の多職種回診の水準を維持したまま重症コロナ患者の診療を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

申請者は2016年以降現施設にて米国式医療システムに基づき、多角的なアプローチから多職種回診・多職種連携を定着させた。多職種連携はICUの効果的かつ効率的な運営において不可欠であり、本研究から得られるデータは専門化の進む我が国の集中治療領域におけるモデルケースとなることが期待される。本研究により多職種回診を基盤とした、ケアバンドルなどの医療システム導入することで、「世界標準の治療の提供」と「日本発のデータを世界に向けて発信」する事が可能となると考える。

研究成果の概要(英文)：Multidisciplinary rounds significantly decreased ICU length of stay and mean CV catheter days in Japanese university tertiary hospital. Although there may be differences in practice and structure of ICU care compared to the US, our findings suggest that the systemic implementation of ICU multidisciplinary rounds improves the ICU outcomes. During COVID-19 pandemic, we settled the system to carry on multidisciplinary rounds remotely so that the quality of patients' care would be maintained. Additionally, appropriate zoning of patient care areas relative to the degree of infectious risks were implemented to optimize the flow of patient care on the platform of multidisciplinary rounds. The implemented process proved to be effective in coordinating care between various disciplines involved in the multidisciplinary approach of patient care.

研究分野：集中治療

キーワード：集中治療 多職種連携

1. 研究開始当初の背景

本研究計画は申請者の20年以上に渡る米国での指導経験を活かした、米国式医療システムの導入による効果についての研究を主目的とする。近年になって、EBMの実践において臨床現場へ新規システムを導入し、定着させることの複雑性が **implementation science** として認識されるようになってきているが、申請者は2016年に帰国して現施設に着任以降、多角的なアプローチを要して多職種回診を定着させることに成功した。

本研究は「世界標準の治療の提供」と「日本発のデータを世界に向けて発信」する事を目標として、多職種回診を基盤とした、ケアバンドルなどの医療システム導入による効果測定を行う。多職種連携はICUの効果的かつ効率的な運営において不可欠であり、本研究から得られるデータは専門化の進む我が国の集中治療領域におけるモデルケースとなることが期待される。

2. 研究の目的

本研究の主目的は多職種回診を基盤とした、ケアバンドルを始めとした医療システム導入の効果測定である。SCCMガイドラインにおいても、新規システム導入に当たっての過程と結果の測定はICU運営に重要な役割を果たすとされており、加えてこの様なデータを広く公開することは、今後の日本における効果的なICU運営法を見出すための重要な基礎資料になると考えられる。

3. 研究の方法

多職種回診を基盤とした医療システムは既に海外において実効性が示されているが、それでも本研究の学術的独自性は失われない。米国と日本ではそもそもの基盤となる医療提供体制が大きく異なるうえ、文献的に有効性が示された手法であっても、現場レベルへ実際に導入するのは従来考えられていたよりも容易でないことは広く認識されており、近年では集中治療領域においても **implementation science** と呼ばれる、社会科学的手法などを用いた学際的問題解析手法が個別化されたEBMの実践（新規治療やシステムの導入）に必要と認識されている **Implementation** における重要な要素の一つは、測定可能な指標を継続的にモニターすることで実践の過程を経時的に評価しながら、常に課題認識と解決を行う工程を実行していくこととされる。

4. 研究成果

日本集中治療学会が主導するデータベース事業であるJIPADの入力体制を確立し、ICUのベンチマークを可能とした。このデータベースから得られる内容を基に今年度に数多くの発表を国内外で行った。チェックリストと各種プロトコルに関しての作成・運用開始も本年度に多く行い、人工呼吸器装着時のチェックリスト・抜管チェックリスト・搬送チェックリスト・中心静脈穿刺時チェックリストなどを逐次的にICU内に導入し、その一部はICUから病院全体に広まり、マキシマルバリアプレーションの定着に貢献した。特にせん妄防止の取組に関しては(株)ヤマハの共同研究を背景として、多くの取り組みを行い、選択された患者群におけるせん妄発生率を大きく低下

させることに成功した。

また、新型コロナウイルス感染症が流行している中でも、多職種回診の更なる充実化およびコロナ重症症例に対する診療のシステム化及び運用の取り決めを行い、各診療科とコンセンサスを得ながら当科 ICU 医師が中心となり、多職種連携によるチーム医療を実施した。特に、コロナ感染症に立ち向かう上で、ゾーニングとゾーン間のコミュニケーションが最重要課題であった。ゾーニングについては当院のコロナ対策室と連携を取り、入室および検査時の患者の移動については医療者のみならず、コロナ対策室の事務員も多職種の一員として参画するシステムを構築した。また、多職種回診を患者のベッドサイド、つまりレッドゾーン内で実施することは感染対策上困難であったことから、全症例に対してリモート実施を行うことで、本来の多職種回診の水準を維持したまま重症コロナ患者の診療を行った。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計29件（うち査読付論文 13件／うち国際共著 3件／うちオープンアクセス 9件）

1. 著者名 Eiki Nagaoka, Hirokuni Arai, Toyomu Ugawa, Takahiro Masuda, Kanae Ochiai, Meiyo Tamaoka, Naoki Kurashima, Keiji Oi, Tatsuki Fujiwara, Masayuki Yoshida, Hidenobu Shigemitsu, Yasuhiro Otomo	4. 巻 45
2. 論文標題 Efficacy of multidisciplinary team approach with extracorporeal membrane oxygenation for COVID-19 in a low volume ECMO center	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Artificial organs	6. 最初と最後の頁 1061-1067
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aor.13947	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kotaro Noda, Nobuyuki Nosaka, Youshun Sai, Eiki Nagaoka, Michio Nagashima, Hirokuni Arai, Hidenobu Shigemitsu	4. 巻 9
2. 論文標題 A laceration of a wired silastic tracheostomy tube: A case report and review of the literature	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical Case Reports	6. 最初と最後の頁 1500-1503
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ccr3.3809	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sano, Yoshihiko; Ugawa, Toyomu; Takeda, Ayato; Hyakutake, Toru; Nakazawa, Takashi; Yanase, Shinichiro; Shigemitsu, Hidenobu; Arai, Hirokuni	4. 巻 67
2. 論文標題 Hydrodynamic Approach for Revealing Venous Anastomotic Stenosis Formation Within a Dialysis Arteriovenous Graft	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ASAIO	6. 最初と最後の頁 1269-1276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshiko Ishisaka, Nobuyuki Nosaka, Yuka Mishima, Takahiro Masuda, Michio Nagashima, Yosuke Tanaka, Kouhei Yamamoto, Masayuki Yoshida, Hidenobu Shigemitsu	4. 巻 8
2. 論文標題 COVID-19 case of ventilator-induced lung injury on extracorporeal membrane oxygenation: Physicians' clinical struggle and ethical conflict in a novel pandemic	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical Case Reports	6. 最初と最後の頁 e05223
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ccr3.5223	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 H Endo, S Uchino, S Hashimoto, Y Aoki, E Hashiba, J Hatakeyama, K Hayakawa, N Ichihara, H Irie, T Kawasaki, J Kumasawa, H Kurosawa, T Nakamura, H Ohbe, H Okamoto, H Shigemitsu, T Tagami, S Takaki, K Takimoto, M Uchida, H Miyata	4. 巻 9
2. 論文標題 Development and validation of the predictive risk of death model for adult patients admitted to intensive care units in Japan: an approach to improve the accuracy of healthcare quality measures	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Intensive Care volume	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 TakahiroMitsumuraaTsukasaOkamotoaTsuyoshiShiraiaYukilijimaaRieSakakibaraaTakayukiHondaMasahiroIshizukaaJunichiAiboshibTomoyaTateishiaMeiyoTamaoakaaHidenobuShigemitsuChirokuniAraidYasuhiro0tomobShujiTohdaeTatsuhikoAnzaifKunihikoTakahashifShinsukeYasudagYasunariMiyazakia	4. 巻 27
2. 論文標題 Predictors associated with clinical improvement of SARS-CoV-2 pneumonia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Infection and Chemotherapy	6. 最初と最後の頁 857-863
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jiac.2021.02.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nathan Kirsch 1, Jane Ha 2, Hee-Taik Kang 3 4, Tina Frisch 5, Ji Won Yoo, Craig Grossman, Neema Oroomchi, Hidenobu Shigemitsu, Chad L Cross, Mutsumi John Kioka	4. 巻 100
2. 論文標題 Factors associated with the appropriate use of ultra-broad spectrum antibiotics, meropenem, for suspected healthcare-associated pneumonia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Medicine	6. 最初と最後の頁 e27488.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MD.00000000000027488.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 H Endo, S Uchino, S Hashimoto, Y Aoki, E Hashiba, J Hatakeyama, K Hayakawa, N Ichihara, H Irie, T Kawasaki, J Kumasawa, H Kurosawa, T Nakamura, H Ohbe, H Okamoto, H Shigemitsu, T Tagami, S Takaki, K Takimoto, M Uchida, H Miyata	4. 巻 9
2. 論文標題 Conventional risk prediction models fail to accurately predict mortality risk among patients with coronavirus disease 2019 in intensive care units: a difficult time to assess clinical severity and quality of care	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Intensive Care	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40560-021-00557-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三島有華, 重光秀信	4. 巻 45
2. 論文標題 救命可能患者の生命維持治療の拒否と倫理判断	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ICUとCCU	6. 最初と最後の頁 113-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山内 英雄, 重光 秀信	4. 巻 44
2. 論文標題 【ICUとCCUでよく見られる病態・疾患-標準的な診断・治療・管理2020-】集中治療患者の終末期医療における多職種カンファレンスの効果 Effective Medical Creation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 医学図書出版(株)	6. 最初と最後の頁 217 - 224
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸藤 哲, 吉里 孝子, 大野 美香, 澤村 匡史, 則未 泰弘, 美馬 裕之, 植田 育也, 重光 秀信, 木下 浩作, 藤野 裕士, 氏家 良人, 日本集中治療医学会臨床倫理委員会	4. 巻 27
2. 論文標題 日本集中治療医学会会員看護師の蘇生不要指示に関する現状・意識の変化と、ガイドラインの使用に関する調査	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本集中治療医学会雑誌	6. 最初と最後の頁 231 - 243
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Irie Hiromasa, Okamoto Hiroshi, Uchino Shigehiko, Endo Hideki, Uchida Masatoshi, Kawasaki Tatsuya, Kumasawa Junji, Tagami Takashi, Shigemitsu Hidenobu, Hashiba Eiji, Aoki Yoshitaka, Kurosawa Hiroshi, Hatakeyama Junji, Ichihara Nao, Hashimoto Satoru, Nishimura Masaji	4. 巻 55
2. 論文標題 The Japanese Intensive care PATient Database (JIPAD): A national intensive care unit registry in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 JOURNAL OF CRITICAL CARE	6. 最初と最後の頁 86-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Papanikolaou I, Shigemitsu H, Afthinos A	4. 巻 90
2. 論文標題 Immune status in sarcoidosis: one size does not fit all	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Monaldi archives for chest disease = Archivio Monaldi per le malattie del torace	6. 最初と最後の頁 10408
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakai T, Hoshino C, Okawa A, Wakabayashi K, Shigemitsu H	4. 巻 5
2. 論文標題 The Safety and Effect of Early Mobilization in the Intensive Care Unit According to Cancellation Criteria	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Progress in rehabilitation medicine	6. 最初と最後の頁 207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 三島 有華, 若林 健二, 大井 啓司, 荒井 裕国, 重光 秀信	4. 巻 44
2. 論文標題 感染性心内膜炎に合併した浸潤影を器質化肺炎と診断しステロイド治療を行った1症例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床麻酔	6. 最初と最後の頁 31-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上 聡己, 武澤 恵理子, 重光 秀信, 川口 昌彦	4. 巻 44
2. 論文標題 EMC(Effective Medical Creation) 奈良医大の試み	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床麻酔	6. 最初と最後の頁 31-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 丸藤 哲, 澤村 匡史, 則末 泰博, 美馬 裕之, 大野 美香, 植田 育也, 重光 秀信, 吉里 孝子, 木下 浩作, 藤野 裕士, 日本集中治療医学会臨床倫理委員会	4. 巻 27
2. 論文標題 日本集中治療医学会医師会員の蘇生不要指示に関する現状・意識の変化と、ガイドラインの使用に関する調査	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本集中治療医学会雑誌	6. 最初と最後の頁 129-149
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 重光 秀信 他, 日本集中治療医学会危機管理委員会 (編著)	4. 巻 1
2. 論文標題 第5章1, 東京医科歯科大学医学部附属病院のマニュアル	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 災害時の集中治療室 日頃の準備から発災後まで - ICUの対応ガイドンス	6. 最初と最後の頁 156-157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井 佑充, 重光 秀信	4. 巻 43(4)
2. 論文標題 【ビッグデータとICUにおけるプレジジョン・メディシン】集中治療におけるBig Data活用の歴史と今後の可能性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ICUとCCU	6. 最初と最後の頁 177 ~ 183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木 善孝, 一原 直昭, 入江 洋正, 内田 雅俊, 内野 滋彦, 遠藤 英樹, 岡本 洋史, 川崎 達也, 黒澤 寛史, 熊澤 淳史, 重光 秀信, 田上 隆, 橋場 英二, 橋本 悟, 畠山 淳司, 徳増 裕宣, 日本集中治療医学会 ICU機能評価委員会JIPADワーキンググループ(2018年度)	4. 巻 43(4)
2. 論文標題 【ビッグデータとICUにおけるプレジジョン・メディシン】JIPAD(Japanese Intensive Care Patient Database) の構築	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ICUとCCU	6. 最初と最後の頁 185 ~ 190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鶴川 豊世武, 長島 道生, 山内 英雄, 重光 秀信	4. 巻 43(5)
2. 論文標題 遠隔治療 -十勝南部・日高東部と帯広、東京を結ぶ救急集中治療 Tele-ICU構想-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床麻酔	6. 最初と最後の頁 661 ~ 662
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上 聡己, 武澤 恵理子, 重光 秀信, 川口昌彦	4. 巻 43(10)
2. 論文標題 EMC(Effective Medical Creation) : 奈良医大の試み	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床麻酔	6. 最初と最後の頁 1337 ~ 1342
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三島 有華, 若林 健二, 大井 啓司, 荒井 裕国, 重光 秀信	4. 巻 44(1)
2. 論文標題 感染性心内膜炎に合併した浸潤影を器質化肺炎と診断しステロイド治療を行った1症例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床麻酔	6. 最初と最後の頁 31 ~ 35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Irie Hiromasa, Okamoto Hiroshi, Uchino Shigehiko, Endo Hideki, Uchida Masatoshi, Kawasaki Tatsuya, Kumasawa Junji, Tagami Takashi, Shigemitsu Hidenobu, Hashiba Eiji, Aoki Yoshitaka, Kurosawa Hiroshi, Hatakeyama Junji, Ichihara Nao, Hashimoto Satoru, Nishimura Masaji	4. 巻 55
2. 論文標題 The Japanese Intensive care PATient Database (JIPAD): A national intensive care unit registry in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Critical Care	6. 最初と最後の頁 86 ~ 94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jcrc.2019.09.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakano Takayuki, Kuwahira Ichiro, Shigemitsu Hidenobu, Nakagawa Tomoki, Nagai Asuka, Ebihara Akinori, Oka Teruaki, Iwazaki Masayuki	4. 巻 154
2. 論文標題 A 48-Year-Old Man With Multiple Pulmonary Nodular Opacities and Elevated KL-6 Level	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Chest	6. 最初と最後の頁 e77 ~ e81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chest.2018.03.051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塩田 修玄, 重光 秀信.	4. 巻 55
2. 論文標題 クリティカル・ケアを極める-一歩進んだ総合内科医を目指して】内科クリティカル・ケア 知っておくべき知識・技術をまとめる 重症にはこれを武器に立ち向かう 輸液・血液製剤・輸血の管理と合併症対応.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Medicina	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤 幸世, 若林 健二, 武澤 恵理子, 重光 秀信	4. 巻 42
2. 論文標題 五感を活用したICUケア - Effective Medical Creation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床麻酔	6. 最初と最後の頁 955-963
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 重光秀信	4. 巻 31
2. 論文標題 特集 救急現場のあるある場面別 医療機器使いかたエビデンス	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Emergency Care	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 若林健二、重光秀信	4. 巻 43
2. 論文標題 【多職種で取り組む 最前線の集中治療】 多職種で考える終末期医療と臨床倫理	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 救急医学	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計15件 (うち招待講演 6件 / うち国際学会 7件)

1. 発表者名 重光秀信
2. 発表標題 救急集中治療におけるEffective Medical Creation (EMC) の実践 EMCとは? 集中治療室での取り組み
3. 学会等名 第40回日本蘇生学会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 重光秀信
2. 発表標題 米国から見た日本の集中治療
3. 学会等名 第49回日本救急医学会総会・学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 重光秀信
2. 発表標題 JIPAD四方山話2021
3. 学会等名 第48回日本集中治療医学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 重光秀信
2. 発表標題 集中治療室で始める倫理カンファレンス
3. 学会等名 第48回日本集中治療医学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoichi Iki, Shotaro Matsumoto, Michiko Abe, Kieran P. O'Dea, Hidenobu Shigemitsu, Masao Takata, Kenji Wakabayashi
2. 発表標題 Microvesicles are absorbed on the surface of extracorporeal membrane oxygenation circuit tubing
3. 学会等名 ISEV2019 (International Society for Extracellular Vesicles) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Matsumoto S, Iki Y, O'Dea KP, Shigemitsu H, Takata M, Wakabayashi K
2. 発表標題 Neutrophil-Derived Microvesicles as a Novel Biomarker in Hyperoxic Bronchopulmonary Dysplasia in Mice
3. 学会等名 ATS2019 (American Thoracic Society) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三島有華、朝田瑞穂、羽田野義郎、長島道生、相曾啓史、渋谷有香、宮野七美、塩田修玄、増田孝広、丸山史、若林健二、鶴川豊世武、高橋英夫、貫井陽子、重光秀信
2. 発表標題 ICUでのantimicrobial stewardship programとしてのtime-out 導入効果
3. 学会等名 日本集中治療医学会関東甲信越支部学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wakabayashi K, Sato S, Nawa N, Takezawa E, Fujiwara T, Shigemitsu H
2. 発表標題 Music interventions for preventing ICU delirium: a randomized controlled trial
3. 学会等名 ESICM2019 (European Society of Intensive Care Medicine) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 T. Hinoshita, J. Young Seok, T. Hensman, D. Garner, S. Sturland, T. Sugawara, R. Hayes, N. Nonaka, R. Kameya, M. Izumi, M. Adomi, M. Feng, D. Pilcher, L. A. Celi, S. Hashimoto, H. Shigemitsu
2. 発表標題 Daily temperature variability of patients is associated with changes in ICU mortality
3. 学会等名 ESICM2019 (European Society of Intensive Care Medicine) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 重光秀信
2. 発表標題 ICUにおける多職種連携 -米国と日本の経験を踏まえて-
3. 学会等名 総合病院土浦協同病院 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 重光秀信
2. 発表標題 重症患者における多職種連携 -米国・日本の経験を踏まえて-
3. 学会等名 市立函館病院（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shiota Nobuhiro、Sato Sachiyo、Wakabayashi Kenji、Tsukada Yoko、Tanaka Marie、Shigemitsu Hidenobu
2. 発表標題 MULTIDISCIPLINARY ROUNDS SHORTEN ICU LENGTH OF STAY IN A JAPANESE UNIVERSITY TERTIARY HOSPITAL
3. 学会等名 Society of Critical Care Medicine Congress（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mishima Y., Wakabayashi K., Shigemitsu H
2. 発表標題 A Ten-Minute Lecture Impacted the Interpretation of Do-Not-Attempt-Resuscitation Order in Resident Physicians in Japan
3. 学会等名 American Thoracic Society Congress（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 重光秀信
2. 発表標題 集中治療におけるBig Data活用の歴史と今後の可能性
3. 学会等名 日本蘇生学会ランチョンセミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shigemitsu H
2. 発表標題 The Japanese Story of AI in Healthcare
3. 学会等名 NUS-MIT Datathon (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 重光秀信	4. 発行年 2019年
2. 出版社 克誠堂出版株式会社	5. 総ページ数 24
3. 書名 救急・集中治療領域における感染症診療	

1. 著者名 重光秀信	4. 発行年 2020年
2. 出版社 真興交易株式会社	5. 総ページ数 2
3. 書名 災害時の集中治療室 日頃の準備から発災後まで - ICUの対応ガイドンス	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	若林 健二 (Wakabayashi Kenji) (20723795)	東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・教授 (12602)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------